

「子どもと保護者の 育ちを支えるガイドブック」 活用研修会

～ 地域で支える子どもの育ち「気づく、かかわる、つなげる」～

開催要項

本研修会 のねらい

- ◇ 子どもや保護者のささいな変化や違和感に気づき、かかわり、必要に応じて関係機関につなげることについて、様々な実践事例から具体的に学ぶ。
- ◇ 自身の園（施設）での対応のみならず、他機関との情報共有や連携の手法について理解を深める。
- ◇ 平成 28 年度に発刊した書籍の内容理解とともに、解説により活用方法を学ぶ。

趣旨

近年の子どもや子育て家庭をめぐる環境は著しく変化し、子育ての悩みを相談したり、困った時に頼ったり、地域の中で見守られながら子育てを行うことが難しい状況が増えています。平成 27 年度の児童虐待相談対応件数は 10 万件を超え（厚生労働省調べ／平成 28 年 8 月 4 日発表）ており、毎年増加の傾向にあります。

また、子どもの貧困問題も深刻化し、保護者の経済的貧困に起因する社会的な孤立は、子どもの育ちへ大きな影響が懸念され、重大な子育てリスク（児童虐待、養育拒否等）への介入だけでなく、子育てに対する身近な支援や相談対応を、地域の中で意識的に行う必要性がますます高まっています。

このような状況のなか、全国社会福祉協議会では、平成 27 年に「子どもと保護者の支援ガイドブック作成検討委員会（委員長 大竹 智氏／立正大学 社会福祉学部 子ども教育福祉学科 教授）」を設置し、平成 29 年 2 月に報告をとりまとめました。その内容は、書籍「気づく かかわる つなげる～保育者のための子どもと保護者の育ちを支えるガイドブック～」に整理され、平成 29 年 3 月に刊行されています。日々、子どもと保護者に接する保育所・認定こども園等において、児童虐待にいたる前段階でのかかわりに資するツールとして、本書籍の全国的な活用を期待するものです。

本研修会は、上記書籍の内容をふまえて、子どもや保護者のささいな変化や違和感に**気づき、かかわり**、必要に応じて関係機関に**つなげること**について、様々な実践事例から具体的に学ぶとともに、他機関との情報共有や、連携の手法について理解を深めることを目的に開催します。

開催日時

平成 29 年 7 月 11 日 (火)
10:20 ~ 16:40
(9:30 ~ 受付開始)

7 月 12 日 (水)
9:00 ~ 11:15
(8:30 ~ 受付開始)

場所

全国社会福祉協議会 5階
[第 3 ~ 5 会議室]

東京都千代田区霞が関 3-3-2
新霞が関ビル
TEL. 03-3581-6503
FAX. 03-3581-6509

主催

社会福祉法人全国社会福祉協議会

後援

全国保育協議会
全国保育士会
全国児童養護施設協議会
全国乳児福祉協議会
全国母子生活支援施設協議会

参加対象

- ・ 保育所、認定こども園関係者
- ・ 社会的養護施設関係者（児童養護施設、母子生活支援施設、乳児院、児童家庭支援センター等）
- ・ 社会福祉協議会関係者、民生委員・児童委員、主任児童委員他、地域において子ども・子育てにかかわりのある方

定員 120名

申込締切 平成29年6月12日(月)

参加費 6,000円

(お一人あたり。資料代込)

*資料には、書籍「気づく かかわる つなげる～保育者のための子どもと保護者の育ちを支えるガイドブック～」(1冊)を含みます。



「子どもと保護者の育ちを支えるガイドブック」活用研修会 プログラム

● 第1日目 7月11日(火)

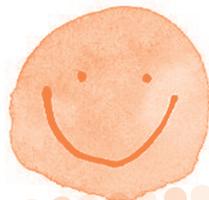
時間	内容
9:30 ~	受付開始
10:20 ~ 10:30	開会あいさつ
10:30 ~ 12:30 (120分)	基調講義 ■テーマ：「気づく、かかわる、つなげる」視点から、児童虐待予防を考える 不適切なかかわりをしてしまう保護者は、必ずしも悪い人間ではなく、それぞれに葛藤や悩み、課題を抱えています。 また、葛藤や悩みからくる、保護者の日々の小さな違和感や変化を見過ごすことで、児童虐待が発生、重篤化していくこともあります。 子どもや保護者のささいな違和感に気づき、かかわって、必要に応じて関係機関につなげることにについて、児童虐待の定義や心理、現状等の解説を交えながら、理解を深めます。 ■講師：大竹 智 氏 (立正大学 社会福祉学部 子ども教育福祉学科 教授／ 全社協 子どもと保護者の支援ガイドブック作成検討委員会委員長)
12:30 ~ 13:30 (60分)	昼 食
13:30 ~ 16:30 (180分)	シンポジウム ■テーマ：子どもと保護者の育ちを、多機関連携ですすめるには 児童虐待の要因は複雑に絡み合って発生しています。 ひとりの職員やひとつの機関のかかわりだけで解決することは不可能であり、それぞれの専門機関が連携し、チームとして子ども・保護者への支援を行うことが重要です。 連携して支援にあたる上でのポイントや、考え方を整理し、それぞれの機関に求められる役割を考えます。 ■登壇者 コーディネーター：大竹 智 氏 (立正大学 社会福祉学部 子ども教育福祉学科 教授／ 全社協 子どもと保護者の支援ガイドブック作成検討委員会委員長) シンポジスト ◆保育所・認定こども園関係者 王寺 直子 氏 (佐賀県／社会福祉法人浄元福祉会 認定こども園あかさかルンビニー園 園長) ◆社会的養護施設関係者 古屋 康博 氏 (大分県／児童家庭支援センター「和(やわらぎ)」 次長) ◆地域で子どもや保護者の育ちを支える関係者 阿南 健太郎 氏 (一般財団法人児童健全育成推進財団 総務部長)
16:30 ~ 16:40	事務連絡

その他

- (1) 旅費・宿泊費等は参加者のご負担となることをあらかじめご了承ください。
- (2) 個人情報の取扱いについて
「参加・昼食・宿泊申込書」に記載された個人情報は、本研修会の運営・管理の目的に限り使用します。
なお、本研修会の申込受付等に関する業務を名鉄観光サービス株式会社新霞が関支店に委託し実施するため、上記の目的の範囲に加え宿泊手配等のサービス提供を目的として情報を共有します。
- (3) 手話通訳、要約筆記など、参加にあたってご要望があればご相談ください。

● 第2日目 7月12日(水)

時間	内容
8:30 ~	受付開始
9:00 ~ 11:00 (120分)	<p>分散会 「気づく、かかわる、つなげる」 具体的手法を学ぶ</p> <p>1. 保育所・認定こども園職員向け</p> <p>テーマ：保育専門職に求められる役割</p> <p>現在、全国に25,000カ所を超える保育所・認定こども園が存在します。そこで働く保育者一人ひとりが、日常の保育場面における小さな違和感や、ちょっとした変化に「気づき・かかわり・つなげる」ことが、全国的な児童虐待予防につながっていくものと考えます。</p> <p>日々の保育実践において、保育専門職に求められる役割や、気づきの視点、かかわりの手法、つなぎのポイント等について、理解を深めます。</p> <p>講師：佐藤 まゆみ 氏 (和洋女子大学 家政福祉学類 准教授)</p> <p>2. 社会的養護施設、地域で子どもや保護者の育ちを支える職員向け</p> <p>テーマ：切れ目ない支援のための他機関連携のあり方</p> <p>子どもや子育て家庭をめぐる環境が著しく変化するにつれ、地域における子育て支援をいっそう高めていくことが重要です。</p> <p>地域を基盤として、子どもと保護者の変化にどのように気づき、どのようなかかわりができるのか、また、ネットワークやプラットフォームづくり等を意識した、児童福祉施設等関係機関との連携についても学びます。</p> <p>講師：大竹 智 氏 (立正大学 社会福祉学部 子ども教育福祉学科 教授 / 全社協 子どもと保護者の支援ガイドブック作成検討委員会委員長)</p>
11:00 ~ 11:15 (15分)	各分散会にてまとめ・閉会



「子どもと保護者の育ちを支えるガイドブック」活用研修会 参加・昼食・宿泊のご案内

■研修開催日 平成 29 年 7 月 11 日(火)～12 日(水)

■研修参加費 お一人様 6,000 円(資料代込)

■お申込方法、ご送金方法

- ① 別紙申込書に必要事項をご記入の上、6 月 12 日(月)までに名鉄観光サービス株式会社新霞が関支店宛に F A X にてお申込ください。
- ② 宿泊申込をされない場合も必ず「参加・昼食・宿泊申込書」に必要事項をご記入の上、お申込ください。
- ③ 申込締切日以降、6 月下旬頃に参加券および費用の振込依頼書を郵送いたします。到着後、ご送金の手続きをお願いします。

■申込締切日 平成 29 年 6 月 12 日(月)
締切日以前でも定員(120 名)に達した時点で締切とさせていただきます。

■宿泊のご案内

研修会へのご参加に際しまして、下記宿泊施設の手配を承ります。
ご希望の方は別紙申込書にてお申込ください。

申込記号	宿泊施設	部屋タイプ	宿泊料金 (1 泊朝食付)	会場からの所要および最寄駅
A	新橋愛宕山東急 REI ホテル	シングル (1 室 1 名利用)	13,900 円	会場から徒歩約 12 分 地下鉄銀座線「虎ノ門」駅徒歩約 7 分
B	マロウドイン赤坂	シングル (1 室 1 名利用)	9,500 円	会場から約 20 分(地下鉄利用) 地下鉄千代田線「赤坂」駅徒歩約 5 分

- * 表示の料金は朝食付、税金・サービス料を含むお一人様 1 泊あたりの料金です。
- * 各タイプとも部屋数に限りがございますので、先着順での受付とさせていただきます。
- * 満室となりました場合は、他宿泊施設をご案内させていただく場合がございます。ご了承ください。

■昼食のご案内 昼食(お弁当)代 1,250 円(お茶付、税込)
研修初日(7 月 11 日)の昼食手配を承ります。
手配をご希望の方は別紙申込書にてお申込ください。

■お申込後の変更、取消について

- ・変更・取消が生じた場合は、お申込の際の「参加・昼食・宿泊申込書」を変更箇所がわかるように訂正の上、名鉄観光サービス株式会社新霞が関支店まで F A X にてご連絡ください。
- ・宿泊、昼食をお取消される場合は、取消日により下記の取消料を申し受けます。予めご了承ください。

取 消 日	14-8 日前	7-2 日前	前 日	当日および無連絡
宿 泊	20%	30%	40%	100%
昼 食	7 月 4 日まで無料。7 月 5 日以降 100%			

* 受付時間外の変更・取消のご連絡は、翌営業日の受付扱いとなります。ご了承ください。

■お申込・お問合せ先 名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店 担当 波多野、山辺
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル L B 階
TEL. 03-3595-1121 FAX. 03-3595-1119
受付時間 平日 9:30～17:30 土日祝日休業

「子どもと保護者の育ちを支えるガイドブック」活用研修会 参加・昼食・宿泊申込書

(H29.7.11 - 12 開催)

送信日	平成 29 年	月	日
新規申込	内容変更	参加取消	

申込締切日	平成 29 年 6 月 12 日(月) (定員 120 名)
-------	-----------------------------------

【参加申込】

都道府県 指定都市		施設・所属団体名	
参加者氏名	フリガナ 氏名	職名	
施設・所属団体 所在地	郵便番号 住所	*参加券の送付先となりますので、郵便番号等は正確にご記入ください。	
	電話	FAX	申込担当者 様
第 2 日目 希望分散会	第 1 希望 (ご希望に○印をつけてください) 1 . 2	第 2 希望 (ご希望に○印をつけてください) 1 . 2	

【昼食申込】 昼食代…1,250 円

初日 昼食休憩時 (ご希望に○をつけてください)	申込みます	・	申込みません
-----------------------------	-------	---	--------

【宿泊申込】 宿泊手配をご希望の場合、「申込記号」に○をおつけください。併せまして宿泊日、泊数のご記入もお願いします。

申込記号 (ご希望に○印)	宿泊施設 (部屋タイプ)	宿泊料金	宿泊日 (泊数)
A	新橋愛宕山東急 REI ホテル (シングル・朝食付)	13,900 円	7 月 日より (泊)
B	マロウドイン赤坂 (シングル・朝食付)	9,500 円	

- ・先着順にて受付をさせていただきます。
- ・申込状況により、ご希望のホテルが満室になった場合は他ホテルをご案内させていただく場合がございます。ご了承ください。

【費用計算欄】 申込内容に基づく費用計算をお願いします。

①研修参加費	②昼食代	③宿泊代	費用合計 左記①～③の合計額
6,000 円	円	円 × () 泊	円

* 申込締切日以降、6 月下旬頃に参加券および振込依頼書を郵送いたしますので、到着後、お手続きをお願いします。

申込書
送付先

名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店 担当 波多野、山辺

FAX. 03-3595-1119 添書は不要です

TEL. 03-3595-1121 受付時間 平日 9:30 ~ 17:30 (土日祝日休業)

変更、取消が生じた場合は、本申込書を変更箇所がわかるよう訂正の上、再度 FAX にてご連絡ください

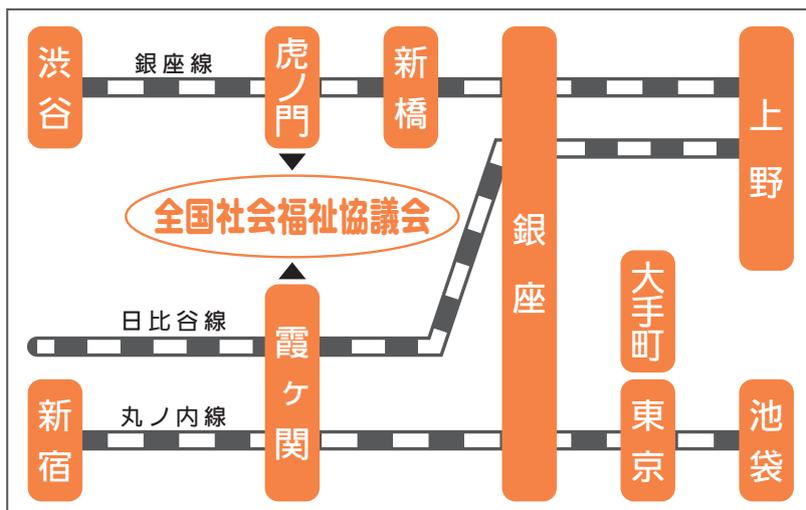
全国社会福祉協議会へのアクセス

〒100-8980
東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5階



交通機関のご案内

- 地下鉄銀座線「虎ノ門駅」 5番出口より徒歩5分
- 地下鉄千代田線／丸ノ内線／日比谷線「霞ヶ関駅」 A13番出口より徒歩8分



お問い合わせ

社会福祉法人全国社会福祉協議会 児童福祉部 (担当：土谷、秋田、鈴木)

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
社会福祉法人全国社会福祉協議会 児童福祉部内
TEL.03-3581-6503 / FAX.03-3581-6509